

# 株式会社CMU Holdings (所在地: 東京都豊島区)

## 事業名

生活介護に通所する重度障害者が豊かな社会生活や在宅就労を目指すためのICTを活用した学習支援事業

## 事業の趣旨・目的

- ・ 肢体不自由特別支援学校卒業後は、生活介護事業所に通所するケースが多いが、学びを継続したり、就労研修を受けたりすることが困難である。
- ・ 重度障害があってもICT活用によって可能性が広がり生きがいに繋がるので、生活介護事業所への訪問またはリモートにより、ICTを活用した就労研修や豊かな生活のための学習支援をおこなう。

## 事業実施体制・連携先

- ・ 生活介護事業所、特別支援学校時代の教員、弊社がチームとなり、本人へのヒアリングを通じて学習内容を設定し実施する
- ・ 学習支援員は主に障害特性に精通する保護者の方で、重心の方に必要となる入力支援機器導入においては専門業者の協力を仰ぐ
- ・ 就労に向けた支援/研修は、障害者就業・生活支援センターと連携する

## 事業内容

### ■生活介護事業所でのICTを活用した学習支援について

次のようなステップで実施する。

- (1) ステップ1: 生活介護事業所と生涯学習の重要性の意識合わせ
- (2) ステップ2: 学習者とのヒアリング(事業所職員や学生時代の教員も一緒におこなう)
- (3) ステップ3: 学習支援内容の設定(原則、学習支援員側で案を作成し、関係者で整合する)
- (4) ステップ4: 入力支援機器の導入支援(専門業者に協力を仰ぎ、体験会や助成金申請のサポートを受ける)
- (5) ステップ5: アプリ活用による学習支援(学習者が実際にやりたいことはこのステップ)
- (6) ステップ6: 学習内容の振り返り(予定の学習が一通り終わったら、楽しかったかどうか、豊かな生活に繋がるかなどについて関係者で振り返る)
- (7) ステップ7: 生活介護事業所でのICTを活用した学習が大切であることを広く伝える事例報告会の実施

### ■パソコンを使った学習や就労研修を受けたいが機会に恵まれない人のための、自宅でのリモート学習/リモート研修について

- (1) 生活介護または就労移行支援に通所しているが、施設ではパソコンを使った活動を十分やらせてもらえない方に帰宅後、リモートで学習支援をおこなう。
- (2) 学校在籍中だが、進路の選択肢を広げるために学校以外でもパソコンの勉強をしたい方に下校後、リモートで学習支援をおこなう。
- (3) 重い障害のため移動が困難で就労移行支援などに通所できず、研修機会に恵まれない方に、リモートでの就労研修をおこなう。

## 事業終了後の目指す方向性

これまでの生涯学習支援活動を持続可能にするために、次のような特徴を持つ多機能型の障害福祉サービス事業所の立ち上げを検討する。

- ① 生活介護
  - ・ 特別支援学校と連携し、日中活動でICTを活用した学習が継続できる
- ② 就労継続支援B型
  - ・ 移動が困難な方や地方の方も在宅利用可能で、就労や訓練ができる

## その他

- ・ 日本肢体不自由児協会発行『はげみ』(令和5年度6/7月号)の「生涯学習2～今後の展開」特集で、弊社の取り組みが掲載された。
- ・ 令和6年2月5日に、令和5年度の取り組みのオンライン報告会をおこなった。その報告会の内容や実施方法についての案内は、弊社ホームページに掲載の通り。→ <https://cmu-holdings.co.jp/news/821/>